

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

2) 総事業費の推移				単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	13,418	14,393	14,573	14,684	18,665
			県支出金	千円	13,418	14,393	14,573	14,684	18,665
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	13,419	14,393	14,573	14,685	18,665
			事業費計 (A)	千円	40,255	43,179	43,719	44,053	55,995
	人件費		正規職員従事人数	人	2	1	1	1	1
			延べ業務時間	時間	1,064	956	996	996	996
			人件費計 (B)	千円	4,491	4,006	4,136	4,133	4,133
			トータルコスト(A)+(B)	千円	44,746	47,185	47,855	48,186	60,128

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。	平成18年6月の医療制度改革により、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、平成20年4月から医療保険者に対し、40歳から74歳までの加入者を対象とする内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための健康診査（特定健康診査）及び保健指導（特定保健指導）の実施が義務づけられたため実施。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・平成22年4月14日の衆院厚生委員会で、厚生労働省から特定健康診査の受診率が平成24年度に65%に達しなくても、平成25年度の後期高齢者支援金の加算・減算の実施を見送る考えが示された。 ・平成24年3月22日、厚生省は後期高齢者支援金の加算減算について特定健診・指導の21年度実績をもとに24年度概算支援金の試算を行い、省内検討会に公表した。 ・平成28年度に策定された真阿市国民健康保険データヘルス計画の中にも盛り込まれ、被保険者の健康増進を図り、医療費の抑制につなげることがより一層求められてきている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・平成19年度までは国民健康保険の加入に関係なく集団検診が受けられていたが、平成20年4月から国保加入者が対象となり他の健康保険加入者が受診できなくなり不満の声が多く、あわせて制度の内容が分かりづらいとの声も多い。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	☒ 結びついている ☐ 見直し余地がある 国保加入者である市民に特定健康診査を受診してもらうことにより、生活習慣病の早期発見、早期治療につなげることは、市の施策に結びつく。 また、生活習慣病の早期発見、早期治療は、医療費の抑制につながり、国保財政の健全化にもつながる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	☒ 妥当である ☐ 見直し余地がある 「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、国保加入者を対象に保険者である市が特定健診を行わなければならないため。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	☒ 適切である ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある 「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、40歳以上の国保加入者に対して、特定健診を保険者である市が行わなければならないため。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地はない ☒ 向上余地がある 広報等で周知及び未受診者への電話勧奨、受診者へ井頭温泉・あぐりっ娘・道の駅にのみやの利用券を配布することにより受診率向上を図る。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☒ 影響がある ☐ 影響がない 生活習慣病の早期発見・早期治療ができず、重篤化により医療費が増大する。 （「高齢者の医療の確保に関する法律」の規定により、実施することが定められた事業である。）
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	☐ 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） ☒ 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	☐ 他の事業と統合・連携ができる ☐ 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある 特定健診は、集団検診で行っているが、委託金額は検査項目ごとに単価が決まっており、平成30年度に受診率60％を達成するためには予算増大は必然であり、予算削減の余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある 特定健診の受診率達成のため様々な取り組みが必要となり、受診率を向上させなければならず、人件費のコスト削減の余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	☒ 公正・公平である ☐ 見直し余地がある 受益者負担金はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☒ 見直し（ ☐ ：目的妥当性 ☒ ：有効性 ☐ ：効率性 ☐ ：公平性） ☐ 統合 ☐ 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足（説明責任不充分） ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☒ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																									